

## ■乾燥性

温度	10℃	23℃	30℃
可使時間	2時間	2時間	2時間
上塗り可能時間	3時間	3時間	1時間
歩行可能時間	4時間	3時間	1時間
重作業可能時間	24時間	24時間	24時間

※ 乾燥時間は施工環境により多少前後しますのでご注意ください。

## ■性状・物性

試験項目	試験結果	試験条件
外観 A液	着色粘稠液	
B液	透明粘稠液	
引っかき硬度	2H	JIS K 5600鉛筆法
摩耗質量	50mg	JIS K 7204 テーパー式摩耗試験機、CS-17 9.8N 回転数1000回
鏡面光沢度	85	JIS K 5600入射角60度
ホルムアルデヒド 放散等級	F★★★★	JIS K 5601-4-1

## ■耐薬品性、耐油性

試験項目	結果	試験条件	試験項目	結果	試験条件
耐水性	◎	水道水、一ヶ月浸漬	耐アルカリ性	◎	10%苛性ソーダ、スポット試験48時間
耐塩水性	◎	20%塩水、スポット試験48時間		◎	10%アンモニア、スポット試験48時間
耐溶剤性	◎	トルエン、スポット試験48時間	耐生活材性	◎	飽和砂糖水、スポット試験48時間
	○	キシレン、スポット試験48時間		◎	醤油、スポット試験48時間
	○	エタノール、スポット試験48時間		◎	ソース、スポット試験48時間
耐酸性	◎	10%塩酸、スポット試験48時間	耐油性	◎	サラダ油、スポット試験48時間
	◎	10%硫酸、スポット試験48時間		◎	灯油、スポット試験48時間
	◎	10%硝酸、スポット試験48時間		◎	エンジンオイル、スポット試験48時間
	○	10%酢酸、スポット試験48時間		◎	切削油、スポット試験48時間

※ 判定 ◎=異常なし/○=やや艶引け ※ スポット試験は、JIS A 5705に準拠  
※ 試験結果は、弊社における試験に基づくもので、保証値ではありません。

## ◆施工上の注意事項

- 下地は、砂、ゴミ、ホコリ等を完全に取り除いて下さい。また、新設コンクリート・モルタル面の表面には、レイタンス(遊離アルカリ)による脆弱層が形成されるため、密着不良の原因となります。必ずワイヤー付きポリリッシャー等でレイタンス層を完全に除去して下さい。
- コンクリート・モルタルの養生不足は、水分の影響によりフクレ、硬化不良を、また、アルカリの影響により密着不良を招く場合があります。コンクリート・モルタルは打設後、常温乾燥で夏期3週間以上、冬期4週間以上の期間が必要です。目安として、含水率が高周波水分計ケット社製HI-500-HI-520で測定し、コンクリートレンジの標準値が5%以下、かつpH9.5以下になってから施工して下さい。また、降雨直後で下地が水分を含んでいる場合は、2日以上乾燥させて下さい。
- コンクリート・モルタル等に発生した亀裂は、Uカットして、フローンエボパテ等を充填し、亀裂面が平滑になるように研磨して下さい。
- 2液反応硬化型ですから、配合比を厳守して下さい。A液10に対し、B液を1(重量比)の割合で計量、混合し、電動攪拌機にて2分以上充分に攪拌して下さい。不十分ですと塗膜性能が十分に発揮されない恐れがあります。
- 混合攪拌時には、粘度が上昇し、その後粘度が下がります。一定になってから塗装して下さい。
- B液は、キャップ口からのみの添加では、規定量を配合することは困難です。フタ部を開放してゴムペラ等でかき出すように取り出して下さい。
- 規定量以下の配合では、塗膜性能が十分に発揮されない恐れがあります。
- 素地の水もれ、屋外での雨天時の施工は塗膜のはくり、硬化不良の原因となりますので絶対に避けて下さい。
- 2液反応硬化型ですから、2時間以内に使い切ってください。2時間を越えたものは、塗膜に欠陥を生じますから絶対に使用しないで下さい。
- 施工後23℃では、3時間程度経過後、歩行可能となります。ただし、この時間帯は、温度、使用量、換気状態によって変化しますのでご注意ください。
- ご使用になる環境を十分に考慮して適正な材料と施工法を決定して下さい。
- 床面に貼り付けたラインテープ等を除去する際、塗膜が剥がれる場合があります。
- 気温5℃以下、湿度80%以上では施工しないで下さい。
- 硬化時間、硬化後の性能は施工時の温度に大きく影響されます。

10℃以下 硬化後退 (カブリ、しわ、軟化発生)	15℃~25℃ 最適	30℃以上 硬化促進 (ポットライフ短縮)
--------------------------------	---------------	-----------------------------

- 施工時には引火、爆発、中毒等の事故防止のため、十分な換気をし、発火原因となる電気溶接、ガス溶断との並行作業を避けて下さい。
- 開封後は速やかに使い切ってください。
- 直接皮膚に触れないように十分に注意して下さい。もし、触れた場合は、ウエス等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗って下さい。
- パワフルフロアーIIは、水を希釈剤としているため、凍結する恐れがあります。凍結したものは、正常な塗膜が得られないことがあるため、凍結させないように保管して下さい。
- 材料の保管、取り扱いについては、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき十分な管理をお願いします。
- 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時及び施工後の換気を充分に行ってください。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。容器、塗装具などを洗浄した廃液は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産廃処理業者に処理を依頼して下さい。

引火性あり	警告	有害性あり	感作性あり
	1.引火性の液体である。 2.有機溶剤中毒の恐れがある。 3.健康に有害な物質を含有している。 4.皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがある。		
業務用	《注意事項》1.通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、また、重い健康障害を起こす恐れがありますので取扱については、容器に表示された注意事項を守ってください。 2.アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取扱いを避けてください。(呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。) ※詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。		

●お問い合わせは・・・



## 東日本塗料株式会社



本社/〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306  
 埼玉工場/〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518  
 仙台営業所/〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320  
 新潟営業所/〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730  
 静岡営業所/〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063  
 北海道出張所 TEL.090(8586)2214 FAX.03(3697)2306

# 国土交通省一品確法に関わる6物質 厚生労働省指針13物質 文部科学省基準6物質 非配合

JIS K 5970



日塗検  
JPO308004  
建物用床塗料 上塗り  
F★★★★

あのパワフルフロアーが  
外部にも使えるようになりました。

## 2液水性ウレタン床用塗料

# パワフルフロアーII

2液水性ウレタン床用塗料

# パワフル フローⅡ

水性 低臭 無鉛 艶有 防塵 速乾

■用途

- 1.臭気を避けたい工場、学校、事務所などの床面
- 2.内外部モルタル・コンクリート床面

■容量・配合比・塗装面積 \*旧タイプ(パワフルフロー)との混合は避けて下さい

品名	容量			配合比(重量比)		標準塗装面積
	A液(主剤)	B液(硬化剤)	セット	A液(主剤)	B液(硬化剤)	
パワフルフローⅡ	15kg	1.5kg	16.5kg	10	1	0.15kg/㎡(2回塗り)55㎡
	5kg	0.5kg	5.5kg			0.15kg/㎡(2回塗り)18.3㎡

■色相 \*色相は色見本帳をご参照下さい。

常備色(6色)		標準色(15色) ※受注生産		指定色			
A-1	マスカットグリーン	B-4	ムーングレー	B-15	キャメルイエロー	B-22	マイルドグリーン
A-2	エメラルドグリーン	B-5	シルバークレー	B-16	チャイナベージュ	B-23	ウォーターブルー
A-3	フレッシュグリーン	B-6	ハンターグリーン	B-18	ラインイエロー	B-24	ハーベストブラウン
A-4	フォックスグレー	B-7	セメントグレー	B-20	ライトグレー	B-25	マリンブルー
A-5	サンドベージュ	B-12	ライトベージュ	B-21	アーモンドブラウン	B-26	ゴールデンイエロー
A-6	スカーレットブラウン						

■標準工法

工法名	工程	材 料 名	使用量 kg/㎡	上塗可能時間 (23℃)	備 考
◇コーティング工法 (総合塗膜厚約0.2mm) 	1	素地調整			※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フローンエコブラ速乾 ※2	0.15	3~48時間	A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	3	パワフルフローⅡ	0.15	3~48時間	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	4	パワフルフローⅡ	0.15	歩行可能時間 :3時間以上 重作業可能時間 :24時間以上	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
◇下地調整工法 (総合塗膜厚約0.4mm) 	1	素地調整			※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フローンエコブラ速乾 ※2	0.15	3~48時間	A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	3	フローン水性HRプライマー 水道水 ※1	0.4 0.04	12~48時間	A液:B液=5:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて攪拌後、水道水にて10%希釈し、中毛ローラーにて塗布。
	4	パワフルフローⅡ	0.15	3~48時間	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	5	パワフルフローⅡ	0.15	歩行可能時間 :3時間以上 重作業可能時間 :24時間以上	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
◇プラチップ仕上げ (総合塗膜厚約0.9mm) 	1	素地調整			※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フローンエコブラ速乾 ※2	0.15	3~48時間	A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	3	パワフルフローⅡ フローンプラチップ	0.15 0.0075	3~48時間	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて攪拌したパワフルフローⅡを1に対し、フローンプラチップを5%計量、混合し、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	4	パワフルフローⅡ フローンプラチップ	0.15 0.0075	歩行可能時間 :3時間以上 重作業可能時間 :24時間以上	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
◇防滑(追吹付)工法 (総合塗膜厚約1.2mm) 	1	素地調整			※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フローンエコブラ速乾 ※2	0.15	3~48時間	A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	3	パワフルフローⅡ	0.15	直 後	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	4	フローン硅砂6号または7号(追吹付)	0.3	3~48時間	工程3の直後、リシガン(口径3~4mm)にてフローン硅砂6号または7号を散布。硬化後、余剰なフローン硅砂を除去。
	5	パワフルフローⅡ	0.2	3~48時間	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	6	パワフルフローⅡ	0.2	歩行可能時間 :3時間以上 重作業可能時間 :24時間以上	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。

※1 下地の状況により使用量が異なります。  
 ※2 工程2において、下地の吸い込みが激しい場合は、再度フローンエコブラ速乾を塗布して下さい。